



多摩市立瓜生小学校

# 瓜生小だより

令和3年度 第2号  
令和3年 5月7日

校長 水野 裕司

晴天に恵まれた中、3人の先生方をお招きして離任式を行いました。感染症対策として、マスクを着用し、校庭で、一人一人の間隔を1.5mずつあけて整列しました。一方、昨年度から、全校児童が校庭に集合するのは数えるほどしかなく、慣れていないことに加え、5時間目で、気温が上がってきたこともあり、児童の体調を心配しながらの実施となりましたが、無事に行うことができました。

離任式終了後、2年生の教室のスクリーンには、懐かしい先生の顔が映し出されました。「先生、元気?」「元気だよ。」「みんなは?」「元気ー!」と子供たちも、先生も楽しそうに、話していました。前担任は、ご家庭の事情で故郷大分県の教員となったため、離任式には参加することはできませんでしたが、オンラインで、児童とのお別れをすることができました。画面を通してでしたが、とても温かい雰囲気にも包まれていました。担任も児童も「ともに伸びる」1年間を過ごしてきたから、画面越しでも心が通じ合っていたのかなと思いました。ICT担当の教員は、「次は、4年生の教室にも行かなくちゃ。」とタブレットを小脇に抱え、忙しそうに移動していきましたが、温かいお別れの場を作るお手伝いができ、とても嬉しそうでした。

恐らく、コロナ禍がなければ、オンラインでお別れをすることは、思いもつかなかったことでしょう。離任式で、校長が代表児童から作文を受け取り、郵送して終わり。となっていたことと思います。改めて、オンラインで繋がるよさに気づかされました。

私たち大人は、新しい体験に、驚いたり喜んだりしながら、ICT機器をなんとか使いこなそうとしています。子供たちは、これが当たり前という環境の中で生活し、成長していきます。10年後には、どんな社会になっているのか、想像もつきません。変化の激しい社会の中で、たくましく生きていく力を育てるには、何をすればよいのか。いろいろと考えさせられるひと時でした。

さて、ステイホームの大型連休が終わり、学校は、運動会に向けて動き始めます。5月に入り、一段と気温が上がります。学校では、感染症予防に加え、熱中症予防にも気を付けながら、指導してまいります。今年は、例年よりも短期間の練習で運動会を迎えます。子供たちも、集中して練習に取り組むと思います。ご家庭におかれましても、児童への応援をよろしく願いいたします。家庭でできる最大の応援は、温かい励ましの言葉かけに加え、十分な睡眠と朝食にご留意いただき、児童のコンディションをしっかりとして整えて登校させることだと思います。

2年ぶりの運動会です。ご家庭のご理解とご協力を得ながら、児童の成長を支え、成功させていきたいと考えています。よろしく願いいたします。

<生活指導目標>	年間重点目標	「言葉づかいに 気をつけよう」 (元気のよいあいさつ 心を込めた言葉づかい)
	5月の目標	「チャイムや音楽に合わせて生活リズムを作ろう」
<5月の保健目標>		「自分の体を知ろう」